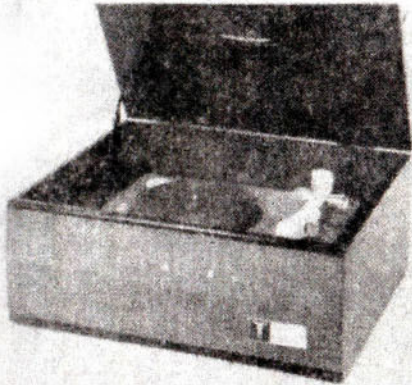


国内新製品紹介

東芝のステレオ・プレーヤー “TPS-29”

このプレーヤーを2台のラジオに接続して立体音響を楽しむわけである。4スピード（4極インダクション・モーター、マグネチック微調整付）、18cmのターンテーブル、PUはターンオーバー型のクリスタル・ピックアップで針圧は6gである。消費電力は25VA。キャビネットは木製のラッカー仕上げで、外形寸法は幅420mm×高さ185mm×奥行355mmで、重量は6.5kgである。現金正価は¥15,000。



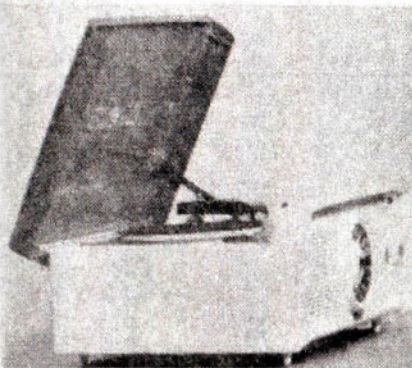
(東京都港区溜池)

東芝商事 K. K.

ナショナルの新製品6種

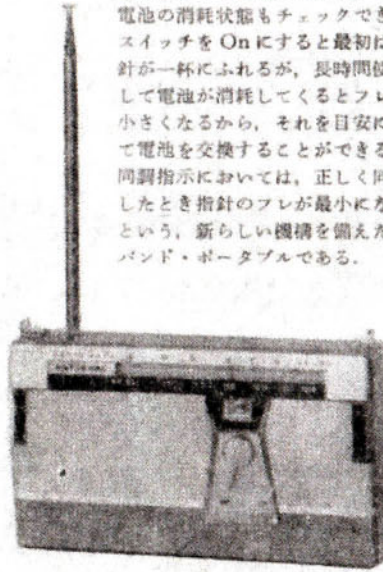
●プラスチック製ラジオグラフ EG-896 型

本機は全日本プラスチック展において、そのデザインと成形技術の優秀さによって工業技術院長賞を受けたものである。4スピードのレコード・プレーヤー（ただしンシングル）と2バンド・ラジオが組み込まれた卓上型で、上蓋をひらくとレコード・プレーヤーに、閉じればオールウェーブという、いわゆるプレス・チェンジャー方式をとっている。外形寸法は360×180×320mmで、重量は5.1kgである。現金正価は¥19,800。



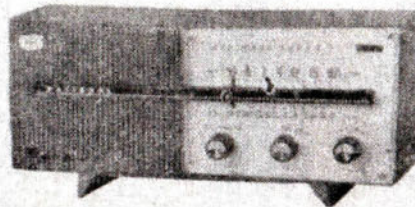
●マジック・メーターをつけた8石 Tr ラジオ “T-22”

Tr ラジオといえど小さなものと大体相場は決まっているが、小型になればなるほど選局の同調はとりにくくなる。それを同調指示器マジック・メーター（前号の本欄にて紹介したラジケーター）によってやりやすいようにしたものが T-22 型である。これはマジックアイと異なり、AGC の動作をメーター針のフレによって指示するようになっている。また電池の消耗状態もチェックできる。スイッチを On にすると最初は指針が一杯にふれるが、長時間使用して電池が消耗してくるとフレは小さくなるから、それを目安にして電池を交換することができる。同調指示においては、正しく同調したとき指針のフレが最小になるという、新しい機構を備えた 2 バンド・ポータブルである。



●5球2バンド “AX-440”

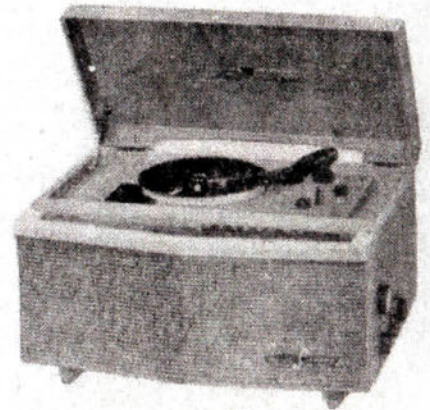
535-1605 kc, 3.75-12 Mc の 2 バンドの 5 球スーパーである。使用球は 12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 95W4 で、電氣的出力は最大 1.5 W、無歪 1.2 W、消費電力 23VA である。スピーカーは 10cm パーマネント型、イヤホン・ソケット 2 個と三線式 PU 端子がついている。外形寸法は横314×高さ150×奥行127(mm)で、重量は 1.7kg である。現金正価は ¥5,800。



●2バンド・ステレオ・ラジオグラフ “AG-827”

ラジオ部は前記 AX-440 型と全く同じの 2 バンドであるが、それに 4 スピードのモーターとステレオ用ピックアップをとりつけたものである。これをステレオとして使用するときは、本機を左側にし、もう 1 台のラジオを右前におき、リードを接続する。本機には 16cm パーマネント SP が 2 個ついているので、できればもう 1 台のラジオまたはアンプもそれに相当するよう SP システムにつなげば更に効果的で

ある。モーターは 4 スピードのリム・ドライブ型、PU はターンオーバー方式のクリスタル型である。電氣的出力は無歪 1.3 W、最大 1.8 W、消費電力は 34VA（ラジオの場合は 22VA）である。外形寸法は幅 470×高さ 290×奥行 360 (mm) で、重量は 8.5kg である。現金正価 ¥23,900。



●2バンド・ステレオ・ラジオグラフ “AG-829”

ラジオ部は前と同じの 5 球スーパーである。AG-827 型と異なる点は、使用スピーカーが 12 cm 型 2 本であることと、形状が幅 460×高さ 270×奥行 355(mm)、重量 7.7kg と、やや小型になっていることである。現金正価は ¥25,900。

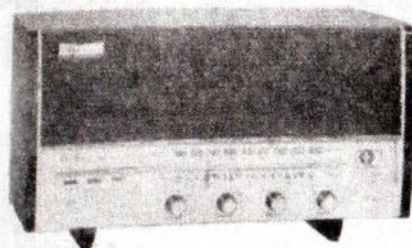
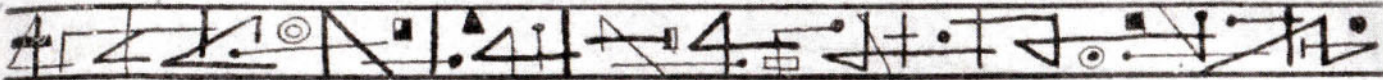


●2バンド・ラジオ “AH-630”

受信周波数帯 535-1605kc, 3.75-12Mc の 2 バンド 5 球スーパーで、使用真空管は 6BE6, 6BD6, 6AV6, 6AR5, 6X4, 6ZE1 である。感度は MW バンド、SW バンドとも 50μV/50mW、出力は無歪 2W、最大 2.4 W で、消費電力は 43 VA である。また、音質は 3 段に調整できるようにになっている。スピーカーは 16cm 型が 2 個、外形寸法は幅 540×高さ 318×奥行 229(mm) で、重量は 6.2kg である。定価 ¥16,500。

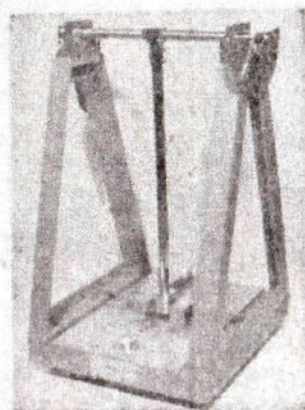
(大阪府北河内郡門真町)

松下電器産業ラジオ事業部



**グレースのテープ衝撃試験器
“TST-1型”**

本機は磁気テープを使用する場合に特に重要な衝撃強度を測定または規定するためのものである。写真でごらんのように振子によって衝撃エネルギーを与えるもので、扱うエネルギーは1.5~13.3kg/cmである。また補助機構により一定の衝撃エネルギーを繰返し与えることもできる。供試テープの所要長さは約30cmである。



(東京都品川区大井元芝町 870)

品川無線 K.K.

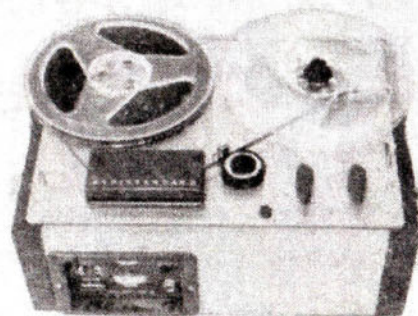
**アカイ・テレコーダー
“スタンダード”**

小型・軽量でしかも安くというところをねらったのが、このスタンダードである。従来の小型なものでは5型のテープしか使えぬため録音時間は1時間であったのが、本機では7型リールまで使え2時間の録音が可能になっている。ヘッドはこのスタンダード用に特に設計され、材料はドイツのパキュウム・シュメツ社のコアを使って高感度を得ていて、本機につくコンデンサー・マイクと共に良質の録音・再生を可能ならしめている。テープ速度は19, 9.5cm/秒の2スピードである。また瞬間停止装置、ラジオから直接録音するインプット、外部スピーカーへのアウトプット端子もついている。

使用真空管は 6AU6T, 6AV6, 35C5×2, 35W4の5本で出力は1.5W、消費電力は47VA、周波数特性は100~10000c/sである。録音はダブル・トラックになっていて、7型テープで往復1時間または2時間、早送り、巻戻しは共に7型テープで2.5分、外形寸法は260×340×190(mm)で、重量は9.6kgである。定価は本体が¥22,300で、付属品が¥4,500である。

(東京都大田区統谷町 3の 88)

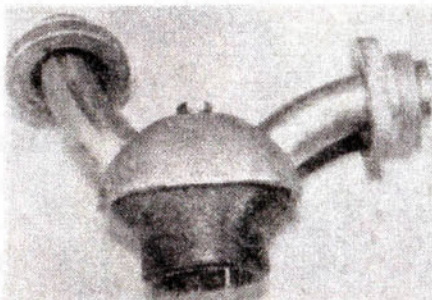
赤井商事 K.K.



ハイベックスの新製品 4種

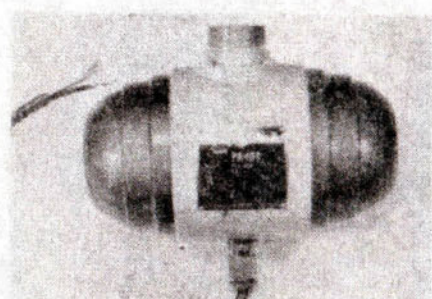
●自在アダプター “UA-2”

単ユニットで2本のホーンを結合するとき便利なアダプターで、ホーンの角度が180度から90度以下(以下の角度は口径により差異がある)まで自由に接合でき、2本のホーンに高低がある場合でも支障なく取付けできる。重量は730gr。¥1,400。



●100W ドライバー・ユニット “PA-100”

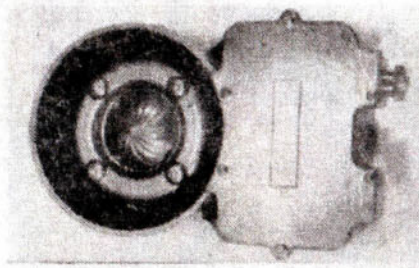
強力磁気回路と特許のイコライザーを使用し過渡特性、低音部特性を向上している。入力を半分(50W)にて使用すればHi-Fi用中低音ドライバー・ユニットとして使うこともできる。公称入力100W、インピーダンス8Ω、32Ω(プラグ差換)、再生周波数100~7000c/s、重量4.8kg、寸法は径110mm、長さ180mmである。定価は¥16,800。



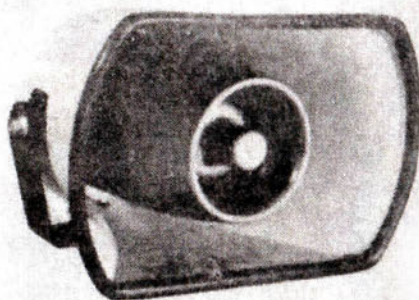
●水密型 マリン・スピーカー “MR-30”

主に海上用として設計されたもので、風雪、豪雨下の悪条件に耐えるもので、海中に没しても大丈夫である。船舶、海浜、河岸、車輦などの拡声装置、つまり在来のものでは支障のあるような場所ですら使うのに適している。公称入力100W、インピーダンス16Ω、ホーン口径150mm、寸法は奥行100mm、全長250mmで、重量は4kgである。定価は¥13,300。

●ホーン型 SP “OB-15K”



本格的な2ウェイ・ホーンSPで、映画館、音楽堂、野外テレビ等に好適である。再生周波数は100~20,000c/s、音圧104dB以上(JIS C-5504測定法)、口径は380×240(mm)で全長は275mm、重量は4.3kgである。ネットワークは自蔵、なおマッチング・トランス内蔵型は受注に依るとのこと。定価は¥13,300。



(大阪府東区平野町 4の 4)

ハイベックス音響 K.K.

**日本商工のスピード剥離剤
“デペント”**



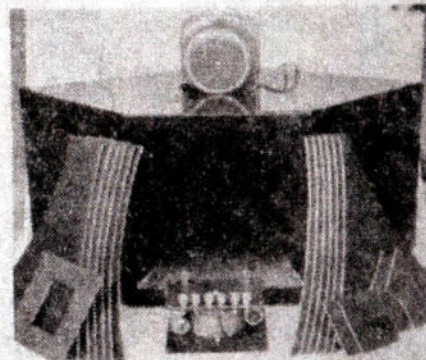
同社では川瀬化学研究所(製造元)が永らく研究していた、絶縁塗膜のスピード剥離剤を新発売した。本品は従来の化学剥離剤の唯一の欠点である腐蝕性を完全に克服し、工業試験所のテストによっても生地損傷事故はほとんどなかったそうである。トランス、通信機器、制御機器などの製作工場における作業能率の向上に適當であろう。

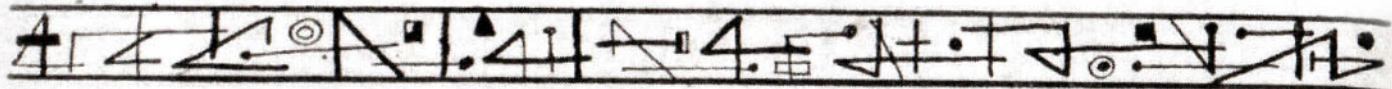
(東京都中央区日本橋本町 2の 7)

日本商工 K.K.

イースタンの新製品

今年の間西オーディオ・フェアにイースタン



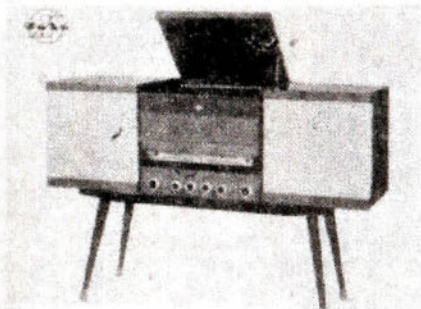


スピーカーの製造元西村電機製作所が出品した展示品である。写真上が中音用ホーン・ドライブング・ユニット“M-35”(コーン型, 8,160 10W型), 中が木製キャビネット入三分割中音ホーン“PH2”, 左右に付けてあるのが, 厚紙製三分割中音ホーンの自作キット“PH-1”中央下が3ウエイ・ネットワークである。定価はM-35 ¥1500, PH-1 ¥400, PH-2 ¥3300, 3ウエイ・ネットワークが ¥1600 である。
(大阪府阿倍野区阪南町東5の2)

西村電機製作所 K. K.

タイヘイのステレオ装置 “SP-600”

キャビネット・メーカーである日本硝子工業が売出した豪華なステレオ装置である。受信機2台を一つのシャーシに組み込んだもので, ラジオのステレオ放送はもちろん, 左右別々の放送を聴くこともできる。使用真空管は 6BE6×2, 6BD6×2, 6A79×2, 6AV6×4, 6AR5×2, 6E5M×2 と 6CA4 (1本で共通) となっている。前面のツマミは右より同調(右側), セレクト, ポリチューム, トーン, 同調(左側)となっている。左右に配置されたスピーカーにはナショナルの20cm型 8P-W1が入っている。ボックスの内容積は 33500cm³ fo は 85c/s。ラジオ部は左側のは MW オンライで, 右側のは 535-1605 kc, 3.5-10 Mc の 2バンドとなっている。出力は左右とも無歪で 2.5W, 最大 3W である。適合スピーカーは 20cm (後面開放) または 16cm (密閉型) である。本機はキャビ・キットとしても売出されているが, この場合は1通, 2通の VR, セレクト SW などは取附ずみとなっている。外形寸法は幅 1150×高さ 785 (脚を含む)×奥行 360(mm) である。



(大阪府東住吉区平野馬場町 225)

日本硝子工業 K. K.

オンキョーの新製品 3種

●バンド・ラジオ “OS-125”

小型の5球2バンド・スーパーである。使用真空管は 12BE6-12BA6-12AV6-30A5-35W4 で, 受信周波数帯は 535-1605 kc, 3.7-12 Mc である。出力は最大 1.5W, 消費電力は 24 VA。スピーカーは同社のノンプレス・コーン 10cm



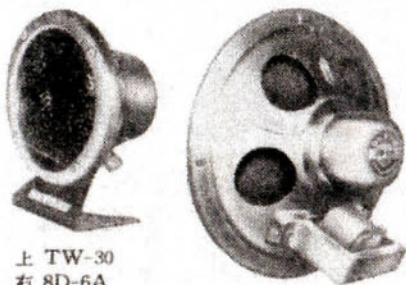
型である。外形寸法は 277×138×117(mm) で, 重量は 2kg, 現金正価は ¥5,850。

●コーン型トウイーター TW-30

公称口径 8cm, 全高 102mm, 奥行 49.5mm 横幅 88mm, バッフル取付口径 69mm, 重量 300gr のトウイーターである。再生周波数範囲は 2,000-17,000c/s (±4dB) で, 最大許容入力 10W, クロスオーバー周波数 2,500c/s 以上, VC インピーダンス 8,16Ω となっている。本機 1 台で 16-25cm までのスピーカーをウーファとして使用できるように, 平均音圧レベルをウーファと同じ 96-98dB にとってあるから, 特別な指示のある場合以外はレベル・コントロールの必要はない。小売価格は ¥1,040。

●16cm 型スピーカー “PD-6A”

規格を列記すると, 口径 16cm, 外径 167mm, 奥行 66 mm, 重量 570 gr, バッフル開口直径 145 mm, 振動系実効質量 3.5 gr, 周波数範囲 90-10,000c/s, 最低共振周波数 105c/s, 出力音圧レベル 95dB/W, 許容入力 2.5W, VC インピーダンス 2Ω, 付属 OPT の一次インピーダンス 3.7kΩ または 7kΩ, 12kΩ, 空路磁束密度 8,500 Gauss である。小売価格は ¥720。



上 TW-30
右 8D-6A

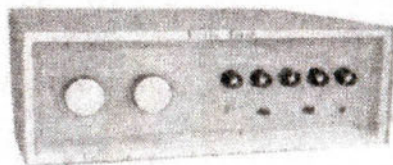
(大阪府旭区大宮西之町 5 の 32)

大阪音響 K. K.

SAN の新製品 3種

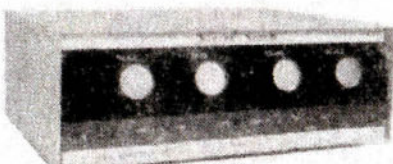
●ステレオ・サウンド “ST-34”

メタル・ケースの中に2組のプリアンプ, メインアンプが組込まれたもので, あらゆるカートリッジの PU, テープ・チューナーが使用できる。使用真空管は 12AX7×4, 6BL8×2, 6BQ5×4, 6×4, 6Z-34, セレンとなっている。出力は最大 34W (17W×2), トーン・コント



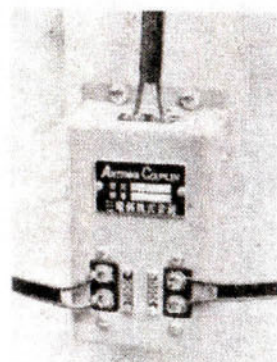
ロール+15-14 dB (50c/s), +13-15 dB (20kc), その他ラウドネス・コントロール, トーン・フィルター, SP 反転用スイッチがついている。外形寸法は 380×304×133(mm), 重量 13kg である。

●ステレオ・サウンド “ST-15”



本機はステレオの普及型ともいべきものであるが, 規格は前記 ST-34 型に準じて, あらゆる入力に使用することができる。使用真空管は 6AQ5×3, 6BM8×4, 6CA4 で, 出力は 15W (7.5W×2), 外形寸法は 350×246×125 (mm) で重量は 8kg である。定価 19,600。

●アンテナ・カップラー



このカップラーを使うと1本のアンテナで2台以上のテレビジョン受像機が使用できる。また, TV 受像機と FM ラジオに同時に使うこともできて便利である。同社のアンテナ・カップラーには R 型と L 型の2種類があるが, 弱

電界地域では損失の少ない L 型を, 強電界地域では R 型を使用するとよい。外形は 120×60×30(mm) の大きさである。定価は SCR-2: ¥680, SCL-2: ¥1,200, SCR-4: ¥950, SCL-4: ¥1,850 である。

(東京都大田区久ヶ原町 97)

三電機 K. K.

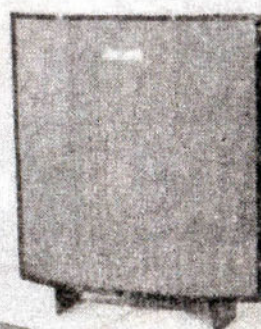
TM 印アルミ用の低温ハンダ

アルミニウムのハンダづけが普通の電気ゴテ (100W) で 150°C の温度でできるものである。アルミニウムとその合金, マグネシウムとその合金のハンダづけ用に考案されたもので, 溶剤は不要である。このハンダは5種類作られているが, いずれも価額は同じで, 1本 (約 20gr) が ¥100, 1kg ¥5,000 (包装・運賃を含む) となっている。

(東京都豊島区池袋 2 の 1029)

東京金属 K. K.

クライスラーの SP キャビ “10B-15C”

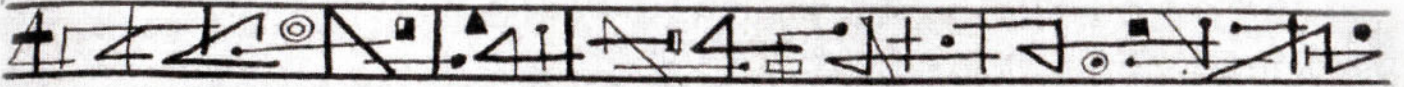


25cm (10吋) 兼 20cm (8吋) 用のコーナー型の音響箱で, 同社独自の可変ダクト方式のバスレフである。外形寸法は横 690×高さ 845×奥行 430 (mm) である。(東京都渋谷区幡ヶ谷笹塚町 1254)

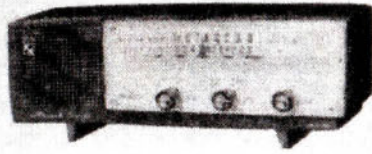
クライスラー電気 K. K.

サンヨーの2バンド・ラジオ

使用真空管 12BE6, 12BD6, 12AV6, 30A5, 35W4 という5球2バンド・スーパーである。受信周波数帯は 535-1605 kc, 3.8-12 Mc, 電氣的出力は無歪 1W, 消費電力 29VA。スピーカーは 10cm 型を使っている。イヤホンソケットは2個ついている。外形寸法は 370×



130×140 mm. 現金正価は ¥5,900.



(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)
三洋電機 K. K.

**トヨーの FM 同調指示計
“F-102”**

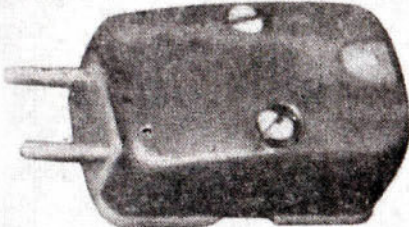
前号で紹介した同社のラジケーターのFM用のものである。ホスターシーレー方式のFM同調指示に使う超小型メーターである。このメーターは前号のトランジスター用 R-101 型と同ケースに収まっていて、検波電流によって針をフラせる式の可動線輪のメーターである。電流感度は +50 μ A, -50 μ A.



(東京都世田ヶ谷区若林町 75)
東洋無線 K. K.

**デンオンの MC 型カート
リッジ “PUC-4J”**

ムービント・コイル型カートリッジ PUC-4 J は、同社のプロフェッショナル・タイプの PUC-3 型を改良し、一般用として特に出力を大きく設計したものである。針圧は 6gr, 取付孔は標準の 12.7 mm (1/2") になっているので、2 本のビスで従来のアームに簡単にとりつけられる。針先はダイヤモンドの固定針を使っている。



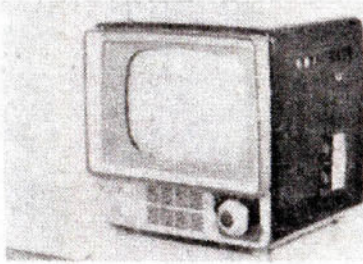
インピーダンスは 1000c/s で約 400 Ω , 負荷抵抗 50k Ω , 出力電圧 1000c/s 50mm/sec において 8mV (-40db) 針先半径は 0.02 ミリ。

(東京都港区芝虎の門 8 城南ビル内)
日本電気音響 K. K.

ナショナルのオート・チューニング 14 型受像機 “T-14-R7”

本機では新ダイオード“バリキャップ(可変容量のもの)” MA302 を使って、選局後の微同調を自動化したもので、いわゆる AFT (オー

トマチック・ファイン・チューニング) としては本邦最初のものである。また普通直熱型を使っている高圧整流回路には傍熱型整流管 1S2 を使用している。(これらの詳細については本文 171 頁を参照のこと) 使用真空管はブラウン管とも 16 本、ゲルダイ 3 石、シリコン・ダイオード 1 石となっている。スピーカーは 18cm×10cm のダブルコーン箱型である。音声出力は無歪で 2W, 消費電力 135W となっている。外形寸法は高さ 460×幅 460×奥行 450 (cm) で重量は 20kg, 現金正価 ¥67,500.

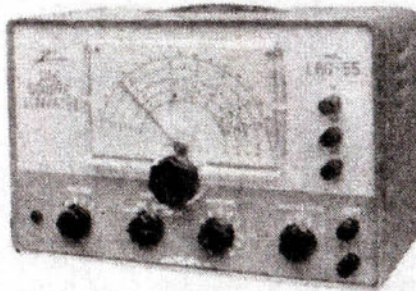


(大阪府茨木市大字畑田 150)
松下電器産業テレビ事業部

大松電気の測定器 2 種

●CR オッシレーター “YAG-55”

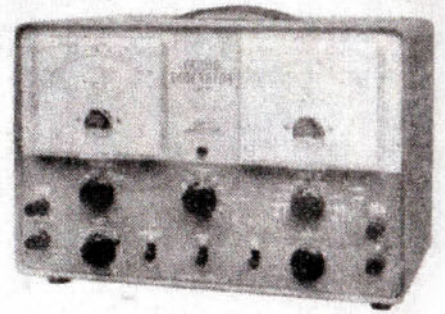
リーダーの名称をもつ大松電気の出したウィーン・ブリッジ回路を使用した CR 発振器である。その出力は切換によって正弦波、矩形波、複合波の 3 つの波形を発生させている。また本器内にはハイパス・フィルタが組込まれているから、複合波を使って混交測定も容易に行える。周波数範囲は 20c/s~200kc (4バンド) で、周波数較正精度は $\pm 2\%$ 2c/s 以下、周波数安定度は AC ライン $\pm 5\%$ に対し 1% 以内となっている。出力インピーダンスは約 10 k Ω である。使用真空管は 6AV6, 12AT7, 6AR5 $\times 2$, 6X4 の 5 本である。外形寸法は 170×320×215mm で重量は約 5kg である。



●オーディオ・シグナル・ジェネレーター “LAG-65”

デケード式 CR 発振器と真空管式低周波周波計とを総合的に組合せたもので、周波数切替方式は 1~10 と 10~100 の 2 単位をマルチプライヤーにより 10c/s~100kc の間に変化させ、その周波数指示は周波計によって精密に表示され、かつ同時にその出力電圧をも出力計によって指示される。出力電圧は 600 Ω 端子にて 0~0.003V, 0.01V, 0.03V, 0.1V, 0.3V, 1V, 10 k Ω 端子にて 0~3V, 10V である。波形歪は 0.1% 以内、入力レベル 3~300V RMS. 使用真空管は 6AU6 $\times 2$, 6CL6, 6AQ5, 6AL5, 6X4, 0A2 で、外形寸法は 340×230×185 mm で、

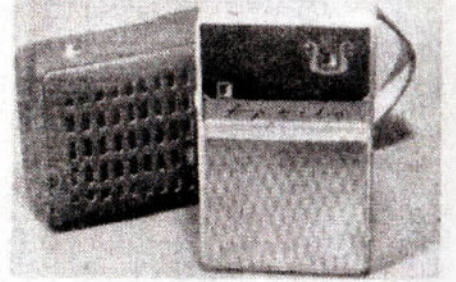
重量は 7.5kg である。



(東京都目黒区上目黒 5 の 2596)
大松電気 K. K.

**アポロの TR 6 石ラジオ
“TR-2”**

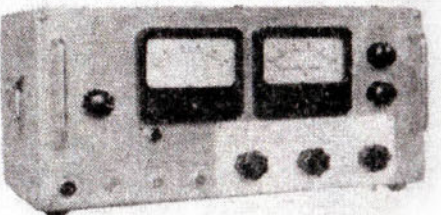
使用している石はテンの 2S30, 2S31 $\times 2$, 2S32, 2S33 $\times 2$ の 6 個で電源は BL-006P の 9V で、スピーカーは 5.6cm である。出力は無歪 80 mW, 最大 100 mW, 外形寸法は 63×105×32mm で、重量は 280gr. 正価 ¥6,800.



(東京都江戸川区遊井 2 の 441)
東邦電機精器 K. K.

**スター無線測器の CR 減衰特性
試験器 “S-5903”**

本器はテレビ用積分回路の減衰特性を、1kc の 16kc の 2 点の比較による特性を試験する装置である。発振器部、減衰器部、選択増幅部および指示部、電源部よりなっていて、発振部は 6AU6-6AR5 2 段増幅のウィーンブリッジによる CR 発振回路で、サーミスターを使用し発振出力の安定をはかり 6AQ5 に送り、出力トランスを経てアッテネーターに接続され OUTPUT コンセントより出力を取り出している。選択増幅部および指示計部は 6AU6 カリードアンプ 12AX7, 12AU7 による 5 段増幅回路で 2 段目および 3 段目の 12AX7 の回路は、LC による選択増幅器となっている。低周波では高い Q が得られにくいので、ツボ型フェライト・コアを使用し、コイル Q を高め、更に正饋選をほどこし選択度を高くしています。電源部には直流定電圧回路が組み込まれています。



(京都市左京区京極庄境町 16 の 1)
スター無線測器 K. K.